

国立研究開発法人科学技術振興機構
次世代研究者挑戦的研究プログラム



千葉大学 全方位・挑戦的融合イノベーター
博士人材養成プロジェクト

令和7年(2025年)10月採択
募集要項

令和7年6月27日

国立研究開発法人科学技術振興機構
次世代研究者挑戦的研究プログラム

千葉大学 全方位・挑戦的融合イノベーター
博士人材養成プロジェクト

募集要項

<プロジェクトの概要>

千葉大学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が公募した「次世代研究者挑戦的研究プログラム」（SPRING事業）に採択され、令和3年10月から「全方位イノベーション創発博士人材養成プロジェクト」として事業を実施してきました。

当該プログラムは、既存の枠組みを越えて博士後期課程学生の自由で挑戦的・融合的な研究を支援するとともに、学生が研究に専念できる環境を整備し、併せてキャリアパスの支援などを行うことで、優秀な博士後期課程学生を多様なキャリアパスで活躍できる博士人材へと導く事業です。

令和6年度からは、同じくJSTが実施してきた「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」と一本化して「次世代研究者挑戦的研究プログラム」として公募され、本学も「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」として新たに申請し、採択されました。

これを受けて、千葉大学は、「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」を開始し、博士後期課程の全専攻から優秀な学生を選抜して研究奨励費等を支給するとともに、様々なキャリアパス支援に向けた取組を行っていきます。

これにより、我が国の超高齢少子化や大規模災害等の課題、新規感染症等の人類共通の課題に迅速に対応し、様々な研究分野やセクターでイノベーションを創発する博士人材を養成します。

「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」ホームページ

<https://imo.chiba-u.jp/ALDI/>



（注意：募集要項の内容は、政府予算等の状況により変更になる場合があります。）

1. 募集人員

- 令和7年度入学者 : 15名程度
令和7年10月現在 2年次に在学する者 : 若干名
令和7年10月現在 3年次に在学する者 : 若干名
令和7年10月現在 4年次に在学する者 : 若干名

※ 申請数や選考結果によっては、募集人員を変更する場合があります。

2. 申請資格

申請できる者は、次の(1)から(4)の全てに該当する者とします。

- (1) 令和7年10月時点で千葉大学大学院博士後期課程の次の3年制10専攻と4年博士課程の次の4年制2専攻に在学する者。又は、令和7年10月に入学を予定している者（千葉大学大学院博士後期課程入学者選抜試験受験予定者を含む）。ただし申請時に休学中の者は除く。
人文公共学，数学情報科学，地球環境科学，先進理化学，創成工学，基幹工学，
情報・データサイエンス，環境園芸学，先端医学薬学，先進予防医学共同，先端創薬科学，看護学
 - (2) 本プロジェクトの学修と研究に専念でき，かつ日本の科学技術・イノベーションの将来を担う意欲に溢れる者
 - (3) 本プロジェクトにおいて実施する選抜試験を受験できる者
 - (4) 次の(ア)から(カ)のいずれにも該当しない者
 - (ア) 標準修業年限を超過する学生
 - (イ) JST「次世代AI人材育成プログラム」千葉大学「AI特化型・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト—AIコア」に在籍するプロジェクト生
 - (ウ) 独立行政法人日本学術振興会に特別研究員として所属する学生
 - (エ) 本学や企業等から，生活費相当額として十分な水準（※）で，給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生
※ 生活費相当額として十分な水準は，他の事業等を踏まえ，240万円／年を基準とします。
 - (オ) 国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生，本国からの奨学金等の支援を受ける留学生
 - (カ) 大学推薦の奨学金に申請，又は受給が決定している学生
 - (キ) 併給不可の財団奨学金に申請，又は受給が決定している学生
 - (ク) 併給不可の日本学生支援機構奨学金に申請，又は受給が決定している学生
- ※ 本プロジェクト申請後又はプロジェクト採択後の在籍中に，いずれかに該当するようになった場合は，本プロジェクトを辞退していただきます。

3. 申請手続

- (1) 申請書受付期間
令和7年7月1日（火）から令和7年7月15日（火）14時まで（厳守）
※ 受付期間内に受信できなかった申請は，受理しません。
※ 申請後，再提出を求めることがあります。連絡が取れるようにしてください。再提出の期日も申請書受付期間内のため，**期日に余裕を持って申請してください。**
※ 7月30日（水）までに，申請者に受験票をメールにて送付します。

- (2) 申請書提出先
千葉大学 研究推進部 研究推進課
全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト担当
E-mail : kenkyu-jisedai@chiba-u.jp

(3) 申請書類および提出方法

下記の書類を揃えて申請してください。

<注意事項>

申請書類は、**電子メールでの提出**とします。郵送での受付は行いません。

申請書類の内、様式4の「申請者評価書」については、Microsoft Formsより指導教員が直接、回答してください。

- ※ メールの件名を「全方位選抜試験申請 氏名」と記してください。
- ※ 申請書類に記載する所属先及び学年は、全て令和7年10月時点の情報を記載してください。
- ※ 添付ファイル容量は合計20MB以内としてください。容量を超える場合は複数回に分けて送付ください。
- ※ 千葉大学の「ファイル受渡システム」を利用することは可としますが、その他のクラウドストレージを指定するダウンロード方式での提出は認めません。
- ※ 申請書に設定するパスワードは1つに統一し、PDFの権限設定にパスワードを設定しないこと。
- ※ パスワードの通知は同じ件名を使用し、申請書類提出のメールと分けて送信してください。

様式は、**必ず最新の様式をダウンロードすること。**
(過去の選抜試験で配布した様式は受付不可)
<https://imo.chiba-u.jp/ALDI/selection.html>

<申請者本人から提出するもの【代理不可】>

申請書類	摘 要
(様式1) 選抜試験申請書 (PDFデータ)	<ul style="list-style-type: none"> • ファイル名を「01. 申請書 (専攻・学年・氏名)」に変更すること • 必要事項を漏れなく記入すること • パスワードを設定すること
(様式2) 選抜試験受験票 (WordまたはPDFデータ)	<ul style="list-style-type: none"> • ファイル名を「02. 受験票 (専攻・学年・氏名)」に変更すること • 氏名の記入・写真の貼付すること。
(様式3) 誓約書 (PDFデータ)	<ul style="list-style-type: none"> • ファイル名を「03. 誓約書 (専攻・学年・氏名)」に変更すること • 申請者が直筆署名すること
語学力証明等 (PDFデータ) TOEIC, TOEFL等の外国語試験 (英語以外の外国語も対象) のスコアカードの写し	<ul style="list-style-type: none"> • ファイル名を「04. 語学力証明等 (専攻・学年・氏名)」に変更すること • スコアカードが準備できない場合は、発表済論文等の語学力が確認できる書類 (1 篇まで) に替えることができる。 • いずれか1つまでとする。 • 語学力を証明する書類がない場合でも申請することができる。(ただし審査に関わる。) その場合は申請書提出時に、メール本文にてその旨を知らせること。

<指導教員から提出するもの【代理不可】>

下記の書類は令和7年10月時点の指導教員が回答を送信してください。

申請書類	摘 要
<p>(様式4) 申請者評価書 (Microsoft Forms)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 指導教員が回答する申請書類です。 • 申請者から指導教員に依頼すること。 • 指導教員本人（令和7年10月時点）が下記URLのフォームから回答してください。 <p style="text-align: center;">回答期日： 7月15日（火）14時【厳守】</p> <p style="text-align: center;">https://forms.office.com/r/7mYL9BTc7J</p> <p>※ 本学のユーザーのみアクセスが可能です。 (利用者番号@cloud.chiba-u.jp パスワードは統合メールと同じ)</p> <p>※ 上記URLにアクセスできない場合は、(2)申請書提出先までお知らせください。</p>

4. 選抜方法等

選抜は、書面審査（申請書類等）、筆記試験及び面接により行います。

書面審査のみ又は書面審査及び筆記試験で可否を判定する場合があります。

筆記試験は書面審査の結果により、面接は書面審査及び筆記試験の結果により、必要と認めたものに対してのみ実施します。なお、オンライン試験は実施しません。

(1) 選抜試験科目（日本語もしくは英語）

- ① 筆記試験 : 小論文
- ② 面接 : 10分間（うち、自己アピール約1分間）

(2) 選抜試験日時・会場

月 日	受付時間	試験時間	科 目	試験会場
令和7年9月3日（水）	9：10～9：40	10：00～11：00	筆 記	千葉大学 西千葉キャンパス
令和7年9月10日（水）	別途通知	09：00～14：30	面 接	

※ 筆記試験案内は、8月28日（木）までに対象者宛にメールにて通知します。

※ 面接案内は、9月5日（金）までに対象者宛にメールにて通知します。

5. 注意事項

- (1) 申請書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (2) 可否の問い合わせには一切応じません。
- (3) 選抜試験の過程で収集した個人情報は、選抜試験の実施のほか、管理運営業務、就学指導業務、プロジェクト選抜方法等における調査・研究に関する業務を行うために利用します。
- (4) 選抜試験や日程を変更する可能性があります。その際は、本プロジェクトホームページもしくは、申請者にメールにてお知らせします。
- (5) 次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）「A I特化型・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクトーA Iコア」（以下、A I特化型プロジェクトと記す）と併願可能ですが、A I特化型プロジェクトの選抜試験に合格した場合は、全方位プロジェクトの申請または合格を辞退していただきます。

6. 合格発表

令和7年9月25日（木） 14:00

- ※ 合格者はプロジェクト担当から本人のメールアドレスに通知するとともに、本プロジェクトのホームページ上で公表します。
- ※ 合格者は9月26日（金）までにメールが届かない場合、文末の「問い合わせ先」へご連絡ください。合格は指導教員にも通知します。
- ※ 合格通知書とともに、採択後の手続について案内を送付します。指定の期日までに事前の相談なく採択後の手続を行わない場合は、プロジェクト生の身分を失います。
- ※ 辞退を希望する場合は、9月30日（火）までに、文末の「問い合わせ先」まで連絡してください。
- ※ 合格者の辞退等により、追加合格を行うことがあります。追加合格者には、10月1日（水）以降に個別に連絡をします。

7. 支援期間

- ※ 令和7年10月から最大3年間（4年制博士課程においては最大4年間）の標準修業年限内において支援します。（政府予算等の状況により変更になる場合があります。）
- ※ 退学あるいはプロジェクト生としての資格を満たさない状況になった時点で支援を終了します。
- ※ 本プロジェクト申請後またはプロジェクト採択後の在籍中に、「2.申請資格（4）(ア)から(ク)」のいずれかに該当するようになった場合は、支援を終了します。
- ※ 休学期間中は支援を停止します。
休学期間が2年以内に終わった場合は、復学の手続きをすることにより、支援が再開されることがあります。ただし休学期間が2年を超える場合は、プロジェクト生としての資格を失います。

8. 支給額

プロジェクト採択後、必要な手続きを完了した後に、研究費と研究奨励費（生活費相当額）を下記のとおり支給します。

(1) 研究費 年額20万円から150万円（初年度 年額10万円から75万円）

- ※ 選抜試験 書面審査と、プロジェクト採択後に提出いただくチャレンジ計画書を審査し、成績順に傾斜配分して金額を決定します。審査は年度毎に行い金額を決定します。研究費の年度繰り越しはできません。
- ※ 研究費は大学の管理の下で会計規程等に基づき執行していただきます。

(2) 研究奨励費 年額222万円／月額18万5千円（初年度 年額111万円／月額18万5千円）

- ※ プロジェクト採択後、毎月提出いただく所属確認報告書の確認をもって、個人の銀行口座に毎月振込みます。（初回は2か月分を11月25日に支給します。）指導教員の承認が毎月必要です。
- ※ 研究奨励費は雑所得として課税の対象となり、各自で確定申告・納税が必要です。家族の被扶養者になっている場合は、必ず扶養義務者に伝えてください。
- ※ 健康保険や扶養手当等における扶養の扱いについては、扶養義務者の職場等の担当に申し出てください。

9. ジョブ型研究インターンシップ

「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」の支援を受けるためには、ジョブ型研究インターンシップ事業のマッチング専用システムへ登録することを必須とします。

登録方法の詳細はプロジェクト採択後、所属の学務担当より通知されます。指定された期日までに登録を完了してください。

10. 研究倫理教育

「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」に合格した者は、eAPRINの研究倫理教育の受講が必須となります。研究費は、受講修了確認後に支給されます。

eAPRINの案内は、プロジェクト採択後にメール等で通知します。

11. 研究費の執行

「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」に合格した者は、本学の会計規程等に準じて研究費を執行しなければなりません。

12. 合格者に求められる活動

「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」に合格した者は、下記の主体的な活動が求められます。

- (1) 「文系・理系統融合ローテーション演習」(主専攻と異なる分野での演習)を実施。
- (2) ダブルメジャー力として、主専攻と異なる分野の教員を2人目の指導教員とし、2つの分野で成果をあげる。
- (3) 「自主研究チャレンジ」の立案・実施。
- (4) 「自主発展型インターンシップ・海外留学・研修」の企画・実施。
- (5) 「イノベーション創発セミナー」や「学生オンラインフォーラム」等の企画・実施。
- (6) 大学院修了後の就職状況、研究成果についての調査協力

13. ガイダンス

10月下旬～11月上旬にガイダンスを予定しています。ガイダンスの詳細は、プロジェクト採択後にメール等で通知します。

【問い合わせ先】

千葉大学 研究推進部 研究推進課

全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト担当

E-mail: kenkyu-jisedai@chiba-u.jp